



## 6. 今後の課題

1. 「土砂」を考慮した氾濫シミュレーション技術  
急流河川は上流域で多くの土砂生産があるため、氾濫シミュレーションに土砂を考慮する必要がある
2. ハザードマップ  
地域防災計画見直しやハザードマップ作成にあたっては、今回検討の「背景や持つ意味」を県・市町村の防災担当者に正確に伝えることが重要
3. 急流河川における危機管理の課題  
即時対応力強化、迅速かつ的確な避難活動がきわめて重要なため、防災機関は事前の綿密な計画と十分な準備が不可欠



本日はご苦労様でした



小洪水でも  
破堤の危険が迫る急流河川